

# 岡山県感染症週報 2026年第14週 (3月30日～4月5日)

岡山県は『インフルエンザ警報』を解除し、『インフルエンザ注意報』に切り替えました(4月10日)

## ◆2026年 第14週 (3/30～4/5) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況 (第14週届出分)

第13週 5類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1名(80代 男)  
侵襲性肺炎球菌感染症 2名(40代 女1、90代 女1)

第14週 2類感染症 結核 3名(70代 男2・女1)  
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2名(O26:高校生 男1、O103:50代 女1)  
5類感染症 梅毒 2名(20代 女1、80代 女1)  
百日咳 4名(幼児 男1・女2、40代 女1)

効果的な場面でのマスク着用!



©岡山県「ももっち」

### ■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数: ARI 定点50、小児科定点28、眼科定点12、STD 定点18、基幹定点5

- インフルエンザは、県全体で190名(定点あたり3.80人)の報告がありました。
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、県全体で17名(定点あたり0.34人)の報告がありました。
- 急性呼吸器感染症(ARI)は、県全体で2,188名(定点あたり43.76人)の報告がありました。

1. **インフルエンザ**は、県全体で190名の報告があり、前週から減少しました(定点あたり7.94→3.80人)。岡山県は、昨年11月28日に発令した『インフルエンザ警報』を4月10日に解除し、『**インフルエンザ注意報**』に切り替えました(警報の解除基準:2週連続して、定点あたり10人を下回った場合)。詳しくは、「インフルエンザ週報」および岡山県感染症情報センターホームページ『[2025/26年シーズン インフルエンザ情報「インフルエンザ注意報」発令中!](#)』をご覧ください。
2. **新型コロナウイルス感染症(COVID-19)**は、県全体で17名の報告があり、前週から減少しました(定点あたり0.48→0.34人)。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)情報](#)』をご覧ください。
3. **急性呼吸器感染症(ARI)**は、県全体で2,188名の報告があり、前週とほぼ同数でした(定点あたり45.04→43.76人)。詳しくは、『**★急性呼吸器感染症(ARI)情報**』および岡山県感染症情報センターホームページ『[急性呼吸器感染症\(ARI\)情報](#)』をご覧ください。
4. **梅毒**は、2026年第14週に2名の報告があり、2026年の累計報告数は42名となりました(2025年の同時期:66名)。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[梅毒について](#)』をご覧ください。

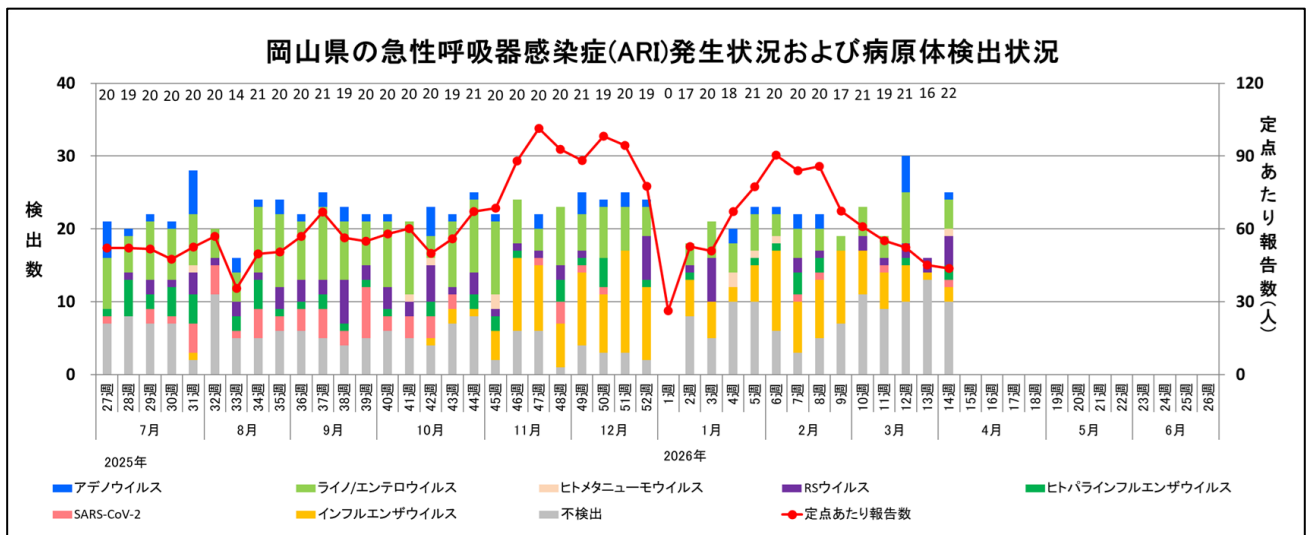
### 流行の推移

疾病名	定点あたり報告数		推移	疾病名	定点あたり報告数		推移
	前週	今週			前週	今週	
インフルエンザ	7.94	3.80	↓	突発性発しん	0.14	0.29	↑
COVID-19	0.48	0.34	↓	ヘルパンギーナ	0.00	0.11	↑
急性呼吸器感染症(ARI)	45.04	43.76	→	流行性耳下腺炎	0.00	0.00	→
RSウイルス感染症	0.79	0.89	↑	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	→
咽頭結膜熱	0.11	0.04	↓	流行性角結膜炎	0.08	0.00	↓
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.86	1.68	→	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	→
感染性胃腸炎	6.18	4.43	↓	無菌性髄膜炎	0.00	0.20	↑
水痘	0.04	0.14	↑	マイコプラズマ肺炎	0.20	0.20	→
手足口病	0.54	0.54	→	クラミジア肺炎	0.00	0.00	→
伝染性紅斑	0.21	0.11	↓	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.40	0.00	↓

【記号の説明】 前週からの推移 ↑: 増加 →: ほぼ増減なし ↓: 減少 増加・減少: 前週比10%以上の増減

# ★急性呼吸器感染症（ARI）情報

## 1. 岡山県の流行状況（第14週（3/30～4/5））



※病原体の検出については検体を採取した週に計上しています。  
 ※1検体から複数のウイルスが検出された場合はそれぞれ計上しています。  
 ※グラフ上部の数字は検体数を示しています。  
 ※急性呼吸器感染症（ARI）定点医療機関数：50医療機関（内科定点22、小児科定点28）  
 ※急性呼吸器感染症（ARI）病原体定点医療機関数：5医療機関（内科定点2、小児科定点3）

急性呼吸器感染症（ARI）は、県全体で2,188名の報告があり、前週から減少しました（定点あたり45.04→43.76人）。地域別では、備中地域（83.00人）、備前地域（46.75人）、岡山市（45.67人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。基本的な感染防止策（換気や手洗い・手指消毒、場面に応じてのマスクの着用を含めた咳エチケットなど）に留意し、感染対策に努めましょう。

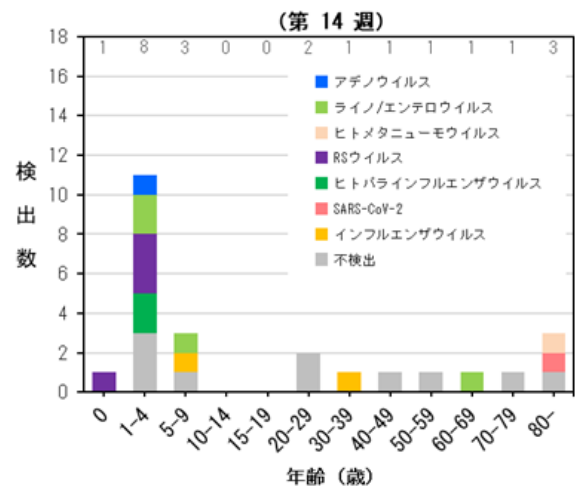
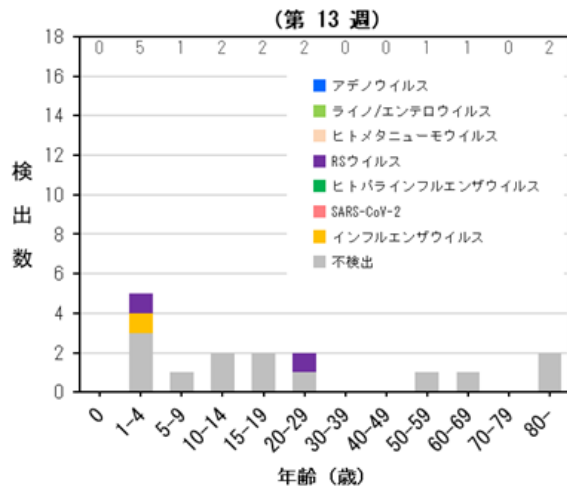
2026年第13週および第14週に採取された検体から検出された病原体は18株でした（詳細は下表参照）。

### 【第13週および第14週 岡山県環境保健センターにおける病原体検出状況】

	第13週	第14週	計*
検体数（うち不検出数）	16(13)	22(10)	38(23)
インフルエンザウイルス	1	2	3
SARS-CoV-2	0	1	1
ヒトパラインフルエンザウイルス	0	2	2
RSウイルス	2	4	6
ヒトメタニューモウイルス	0	1	1
ライノ/エンテロウイルス	0	4	4
アデノウイルス	0	1	1
計	3	15	18

\* 重複あり

○年齢別病原体検出状況



※病原体の検出については検体を採取した週に計上しています。  
 ※1 検体から複数のウイルスが検出された場合はそれぞれ計上しています。  
 ※グラフ上部の数字は各年齢別の検体数を示しています。  
 ※急性呼吸器感染症（ARI）病原体定点医療機関数：5 医療機関（内科定点 2、小児科定点 3）

2. 新型コロナウイルスゲノム解析結果

ゲノム解析の状況は以下のホームページをご覧ください。

○岡山県の状況

→ [新型コロナウイルスのゲノム解析（岡山県感染症情報センター）](#)

○全国の状況

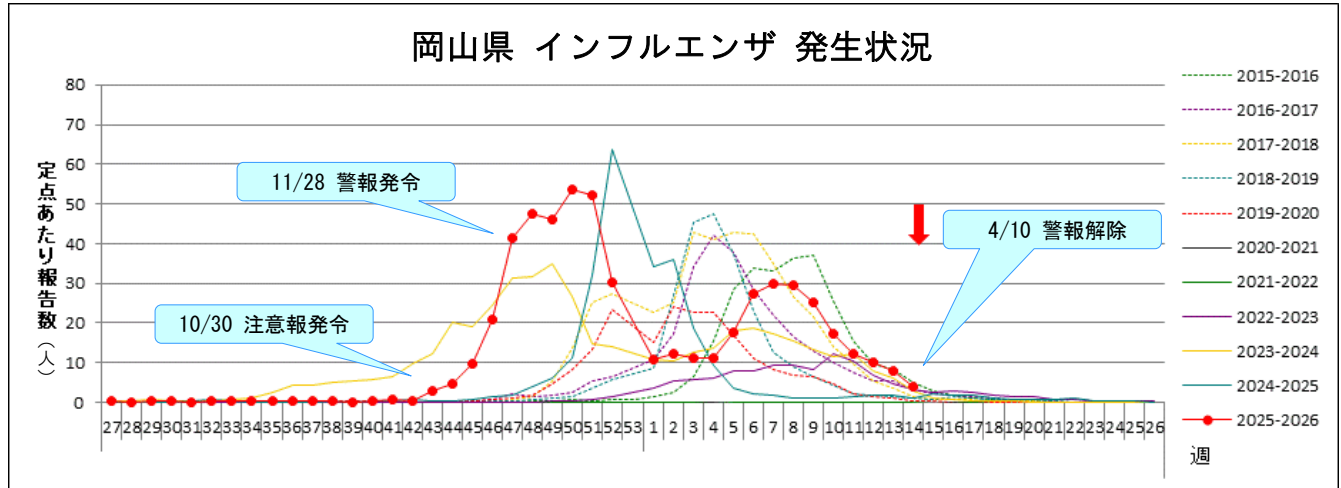
→ [SARS-CoV-2 変異株について（国立健康危機管理研究機構）](#)

## インフルエンザ週報 2026年 第14週 (3月30日～4月5日)

岡山県は『インフルエンザ警報』を解除し、『インフルエンザ注意報』に切り替えました(4月10日)

## 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で190名(定点あたり3.80人)の報告がありました(50定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業施設はありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者はありませんでした。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

※2025年第15週以降定点がインフルエンザ/COVID-19定点(84医療機関)からARI定点(50医療機関)になりました。

インフルエンザは、県全体で190名の報告があり、前週から減少しました(定点あたり7.94→3.80人)。

岡山県は、昨年11月28日に発令した『インフルエンザ警報』を4月10日に解除し、『インフルエンザ注意報』に切り替えました(警報の解除基準:2週連続して、定点あたり10人を下回った場合)。

地域別では、倉敷市(5.17人)、備前地域(4.25人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。

県内の発生状況に注意するとともに、基本的な感染防止策(換気や手洗い・手指消毒、場面に応じてのマスクの着用を含めた咳エチケットなど)に留意し、感染対策に努めましょう。

## ◆インフルエンザの流行が継続しています◆

～引き続き感染に注意しましょう～

## 【感染防止策の徹底】

- ・場面に応じたマスクの着用、手洗い、手指消毒の実施
- ・室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入換え
- ・高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
- ・十分な休養、バランスのとれた食事

## 【発熱等の症状が出た時は】

- ・早めに医療機関を受診する
- ・周りの方へうつさないように「咳エチケット」を!
- ・水分を十分にとり、安静にして休養をとる

⇒ 詳細は岡山県ホームページ [『インフルエンザ対策について』](#) をご覧ください。

# 1. 地域別発生状況

地域名	発生状況 (人)		推移	地域名	発生状況 (人)		推移
岡山県全体	患者数	190	▲	備 中	患者数	16	▲
	定点あたり	3.80			定点あたり	3.20	
岡山市	患者数	65	▲	備 北	患者数	13	▲
	定点あたり	3.61			定点あたり	3.25	
倉敷市	患者数	62	▲	真 庭	患者数	2	▲
	定点あたり	5.17			定点あたり	1.00	
備 前	患者数	17	▲	美 作	患者数	15	▲
	定点あたり	4.25			定点あたり	3.00	

【記号の説明】 前週からの推移 ▲ : 大幅な増加 ▲ : 増加 ▲ : ほぼ増減なし ▼ : 減少 ▼ : 大幅な減少  
 大幅 : 前週比 100%以上の増減 増加・減少 : 前週比 10~100%未満の増減

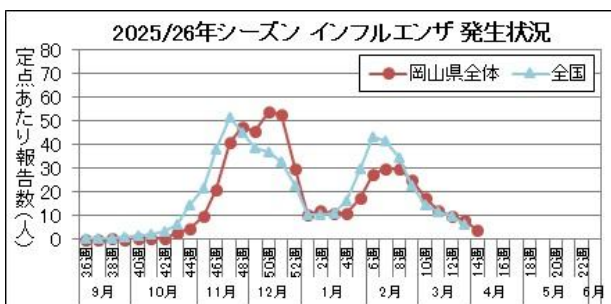
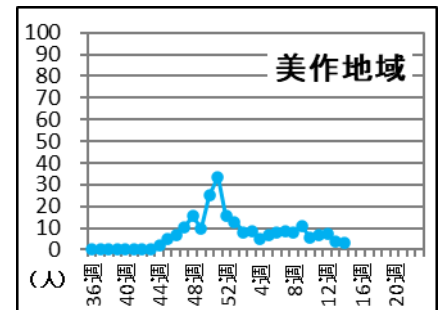
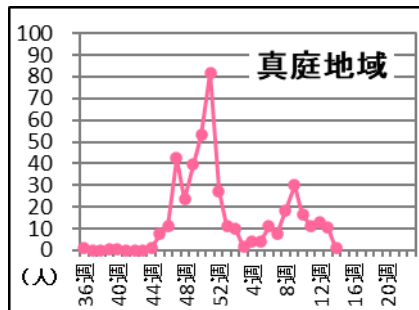
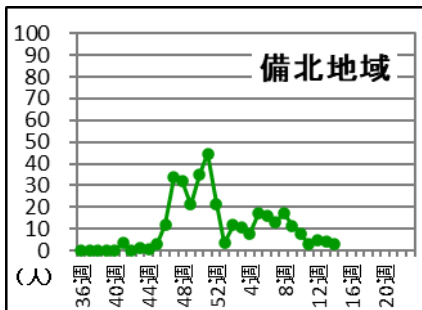
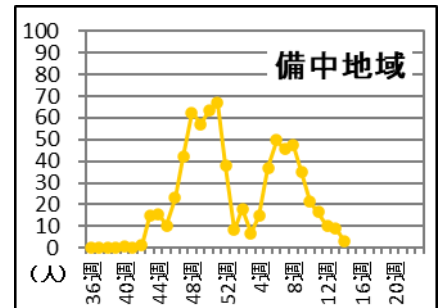
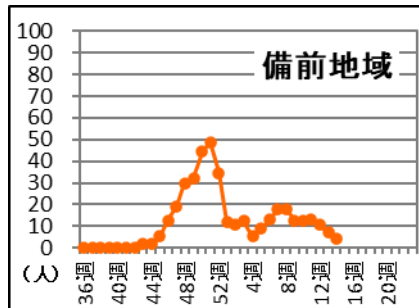
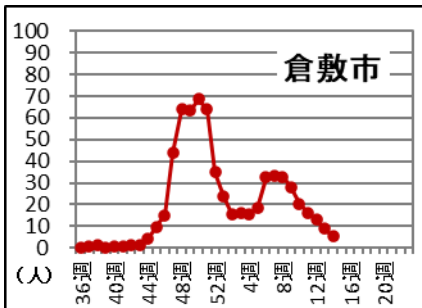
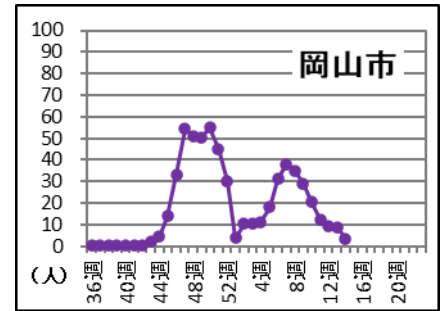
## インフルエンザ感染症マップ



### <インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0 < 10 未満		0

※数字は定点あたり報告数

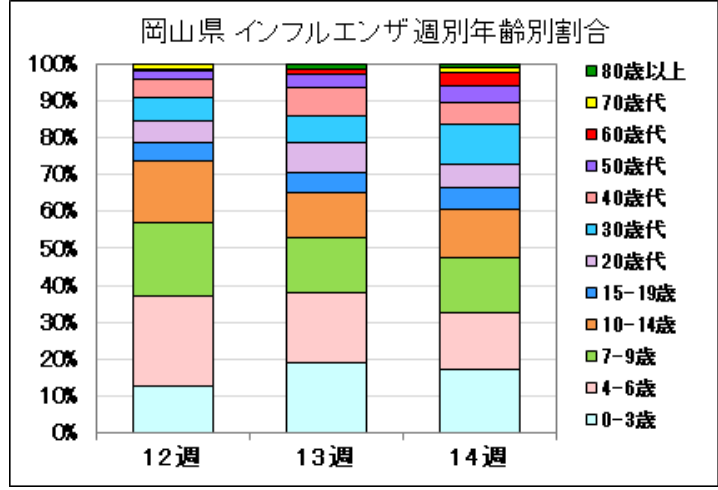
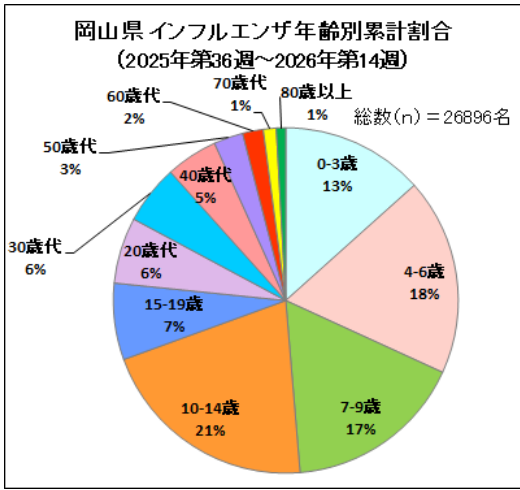


全国集計 2026 年第 13 週 (3/23~3/29) 速報値によると、全国の定点あたり報告数は、6.46 人となりました。

都道府県別では、北海道 (14.40 人)、石川県 (14.09 人)、富山県 (14.00 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。47 都道府県で前週の報告数から減少しました。

[インフルエンザの発生状況について \(厚生労働省\)](#)

## 2. 年齢別発生状況



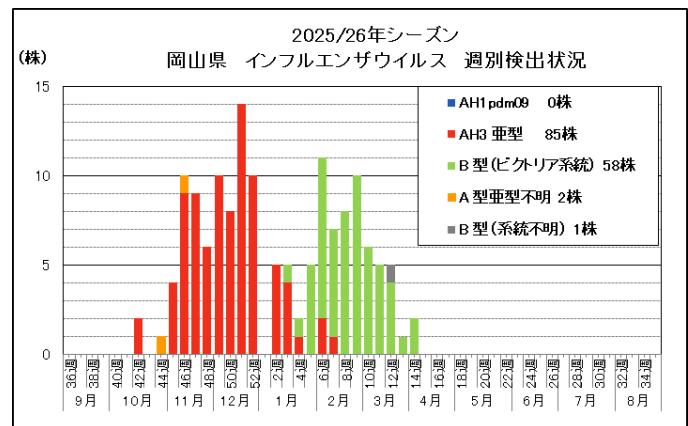
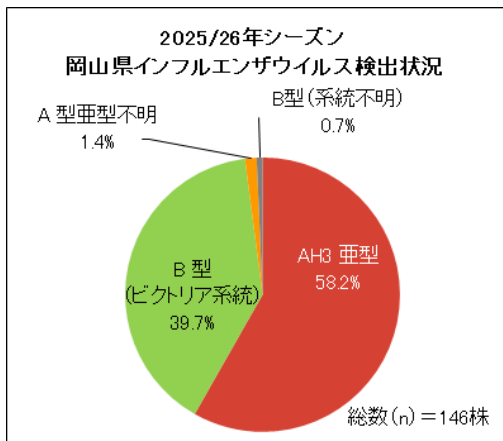
※定点医療機関は、小児科定点（28 医療機関）が内科定点（22 医療機関）に比べて多いため、報告数は小児に偏ります。

## 3. インフルエンザウイルス検出状況

### 【岡山県】

2026 年第 14 週に新たに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 3 株で、全て B 型（ビクトリア系統）でした。

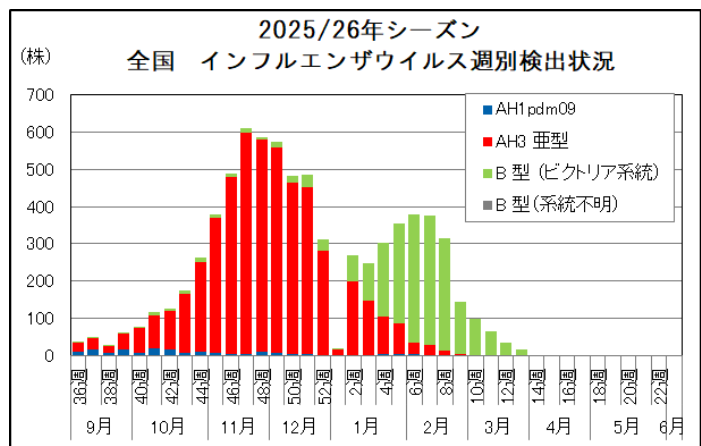
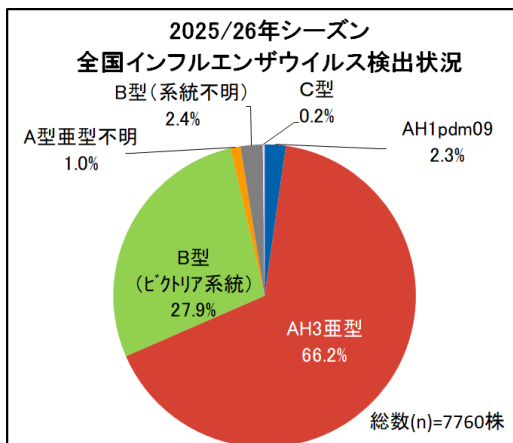
今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 146 株で、AH3 亜型が 85 株、B 型（ビクトリア系統）が 58 株、A 型亜型不明が 2 株、B 型（系統不明）が 1 株となっています。



### 【全国】

今シーズン、これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 が 175 株、AH3 亜型が 5, 138 株、B 型（ビクトリア系統）が 2, 167 株、A 型亜型不明が 81 株、B 型（系統不明）が 184 株、C 型が 15 株となっています（4 月 7 日現在）。

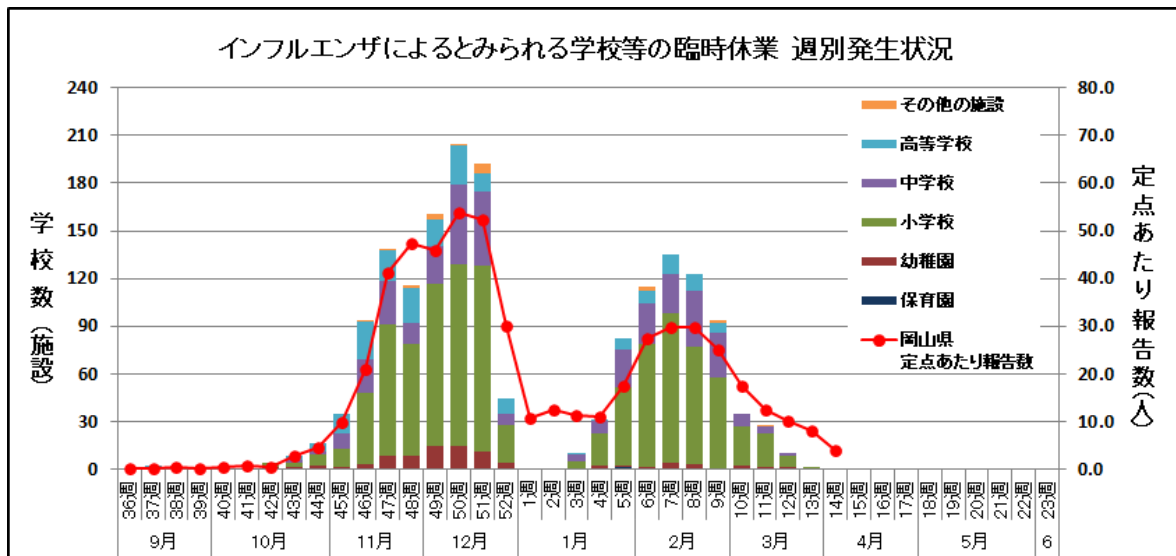
[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立健康危機管理研究機構）](#)



※集計が異なるため一部の型が報告されていません。

#### 4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。



臨時休業施設数の内訳

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
第14週	0	0	0	0	0	0	0
累計	1	82	1,016	365	196	21	1,681

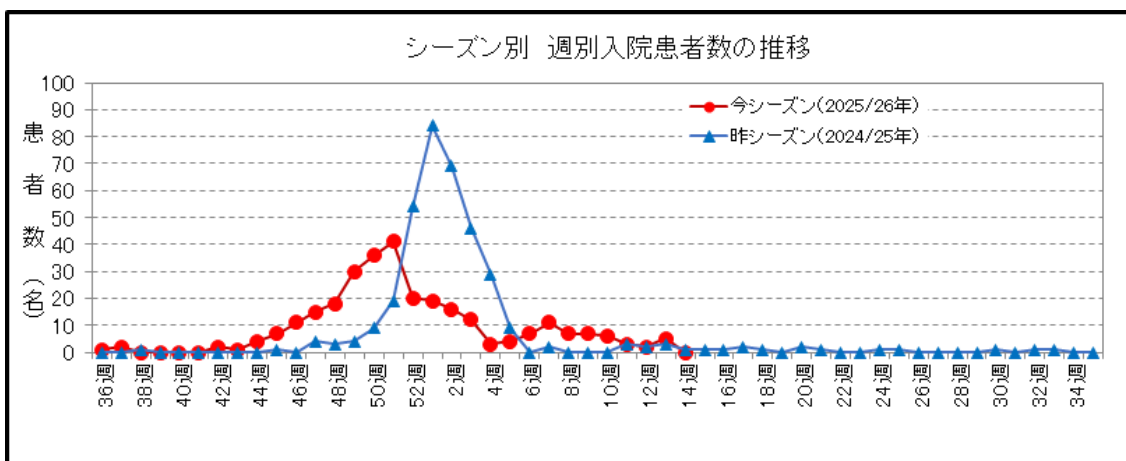
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→ [\(R7年度シーズン\) 岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業](#)

#### 5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、ありませんでした。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【2025年9月1日（第36週）以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	17	51	28	24	5	2	4	7	10	23	54	65	290
ICU入室 *		1	1					1	1	2	8	2	16
人工呼吸器の利用 *		1	1			1		1	1	1	1	2	9
頭部CT検査(予定含) *		1		1				2	1	5	10	8	28
頭部MRI検査(予定含) *		8	3	2				1	1		1	3	19
脳波検査(予定含) *		2		2					1				5
いずれにも該当せず	17	40	24	20	5	1	4	4	8	17	40	52	232

\* 重複あり

[令和7年度 急性呼吸器感染症（ARI）総合対策に関するQ&A（厚生労働省）](#)

[令和7年度 今冬の急性呼吸器感染症（ARI）総合対策（厚生労働省）](#)

保健所別報告患者数 2026年 第14週(定点把握)

( 2026/03/30~2026/04/05 )

2026年4月9日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	190	3.80	65	3.61	62	5.17	17	4.25	16	3.20	13	3.25	2	1.00	15	3.00
COVID-19	17	0.34	4	0.22	1	0.08	5	1.25	6	1.20	-	-	1	0.50	-	-
急性呼吸器感染症	2188	43.76	822	45.67	525	43.75	187	46.75	415	83.00	113	28.25	36	18.00	90	18.00
RSウイルス感染症	25	0.89	10	1.00	7	1.00	-	-	4	1.33	-	-	1	1.00	3	1.00
咽頭結膜熱	1	0.04	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	1.68	29	2.90	2	0.29	3	1.50	3	1.00	3	1.50	5	5.00	2	0.67
感染性胃腸炎	124	4.43	72	7.20	9	1.29	5	2.50	11	3.67	10	5.00	3	3.00	14	4.67
水痘	4	0.14	3	0.30	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	15	0.54	6	0.60	4	0.57	3	1.50	2	0.67	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	0.11	1	0.10	1	0.14	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	8	0.29	2	0.20	4	0.57	-	-	1	0.33	-	-	1	1.00	-	-
ヘルパンギーナ	3	0.11	-	-	2	0.29	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 or 0.00 ) ( 空白 : 定点なし )

保健所別報告患者数 2026年 第14週(発生レベル設定疾患)

( 2026/03/30~2026/04/05 )

2026年4月9日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	190	3.80	65	3.61	62	5.17	17	4.25	16	3.20	13	3.25	2	1.00	15	3.00
咽頭結膜熱	1	0.04	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	1.68	29	2.90	2	0.29	3	1.50	3	1.00	3	1.50	5	5.00	2	0.67
感染性胃腸炎	124	4.43	72	7.20	9	1.29	5	2.50	11	3.67	10	5.00	3	3.00	14	4.67
水痘	4	0.14	3	0.30	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	15	0.54	6	0.60	4	0.57	3	1.50	2	0.67	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	0.11	1	0.10	1	0.14	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	0.11	-	-	2	0.29	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2026年 第14週 2026/03/30~2026/04/05 )

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ	190	3	3	6	14	7	10	9	10	8	8	12	25	11	12	21	11	9	7	2	2
COVID-19	17	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	1	2	1	1	2	2	4

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
急性呼吸器感染症	2188	178	964	417	126	51	74	79	62	68	57	59	53

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	25	5	2	14	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	-	-	3	4	4	4	5	8	3	6	4	6	-
感染性胃腸炎	124	1	9	12	17	7	5	8	4	7	8	4	22	4
水痘	4	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-
手足口病	15	-	1	8	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-
突発性発しん	8	-	1	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
マイコプラズマ肺炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

( - : 0 )

保健所別

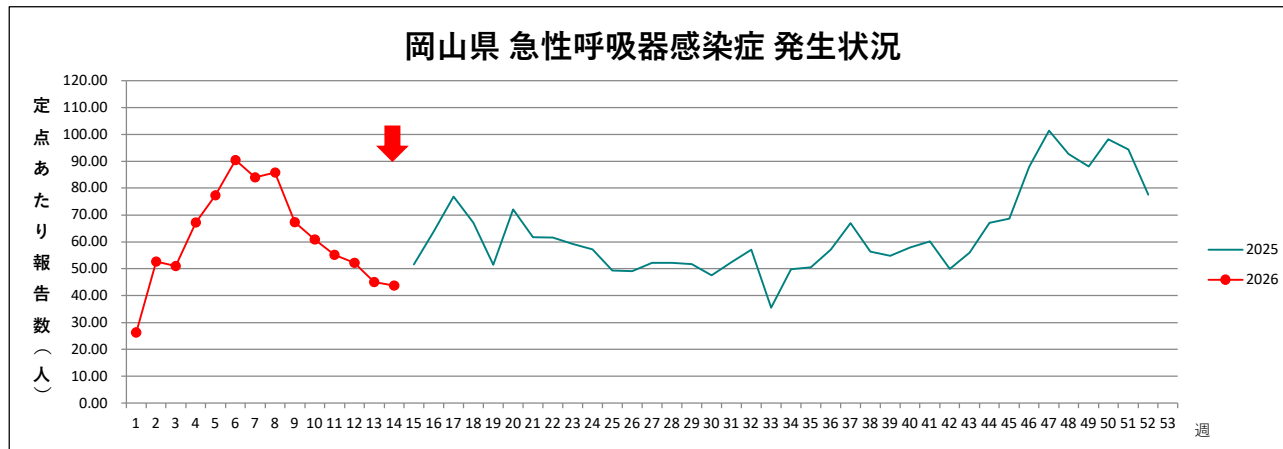
疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
急性呼吸器感染症 (ARI)	2,188	43.76	822	45.67	525	43.75	187	46.75	415	83.00	113	28.25	36	18.00	90	18.00

(- : 0 or 0.00)

年齢別

疾病名	合計	-12ヶ月	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
急性呼吸器感染症 (ARI)	2,188	178	964	417	126	51	74	79	62	68	57	59	53

(- : 0)



# 全数把握 感染症患者発生状況

2026年 14週

分類	疾病名	2026		2025	疾病名	2026		2025	疾病名	2026		2025
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-								
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	3	58	237	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-								
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	2	10	95
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-				
四類	E型肝炎	-	2	4	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	2
	エキノコックス症	-	-	-	エムポックス	-	-	-	黄熱	-	-	-
	オウム病	-	-	-	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	8
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	-
	デング熱	-	-	1	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	19	日本脳炎	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	9	58
レプトスピラ症	-	-	1	ロッキー山紅斑熱	-	-	-					
五類	アメーバ赤痢	-	2	8	ウイルス性肝炎	-	-	2	カルバベナム耐性腸内細菌目細菌感染症	-	4	20
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	-	2	急性脳炎	-	3	14	クリプトスポリジウム症	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	1	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	3	21	後天性免疫不全症候群	-	2	9
	ジアルジア症	-	-	-	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	3	9	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	-	16	55	水痘(入院例に限る。)	-	2	6	先天性風しん症候群	-	-	-
	梅毒	2	42	253	播種性クリプトコックス症	-	-	3	破傷風	-	-	-
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	百日咳	4	37	2,148
	風しん	-	-	-	麻しん	-	-	5	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

